



農業の放射線被害 —その時、 被災地自治体は どのように 取り組んだのか？

5/29 FRI.
16:00

農学部内
弥生講堂アネックス
エンゼル研究棟講義室
(定員30名)

事前登録不要
／参加費なし

福島原発事故に伴う農業被害において、各地方自治体はどのような問題をかかえ、どのような取組をされてきたのでしょうか。事故から4年が経過した現在、改めて振り返るとともに、今後の危機対応の参考とすべく、地方自治体でその当時、農業部門の指揮を取っていた方をお迎えしてセミナーを開きます。幅広い方のご参加を歓迎いたします。特に、将来行政職を希望する学生の積極的な参加を期待しています。

講演

伊達市健康福祉部 伊達市市民生活部
佐藤芳明 部長 斎藤義則 部長

16:00-18:00

講演&質疑応答
講演の後、質疑応答を行います。

18:00-19:00

懇親会(簡単な飲食物を用意します。)
参加費:教員1000円~、学生その他 無料



写真提供:根本圭介

主催: 東京大学農学生命科学研究科アグリコクーン農における放射線影響FG
問合先: 根本圭介(ext. 25044)
田野井慶太郎(uktanoi[at]mail.ecc.u-tokyo.ac.jp, ext. 28496)